

# 国土交通省からの情報提供 ミズベリング・かわまちづくり

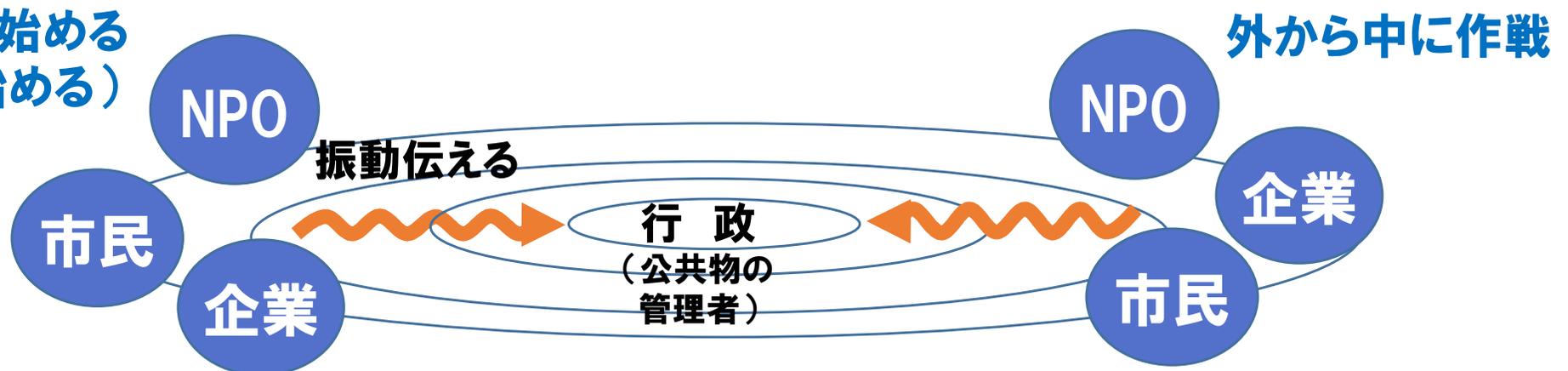
---

国土交通省水管理・国土保全局  
河川環境課

## 水辺の利用者を増やし、水辺を徹底的に活用する運動

- 一度は水辺に背を向けた街並みが、近年、都市の再開発等により、川や水辺を活かしたまちのシンボルとなる空間を形成する動きがある
  - 平成25年に設置された「水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会」において
    - ① まちにある川や水辺空間の賢い利用
    - ② 民間企業等の民間活力の積極的な参画
    - ③ 市民や企業を巻き込んだソーシャルデザイン
- 3つのコンセプトが提示され、この具現化に向けて「ミズベリング」がスタート
- これまで川に関心のなかった人々や事業者が、自由な発想で語り合い、主体的に新たな水辺活用にチャレンジする官民一体のムーブメント

ここから始める  
(私が始める)



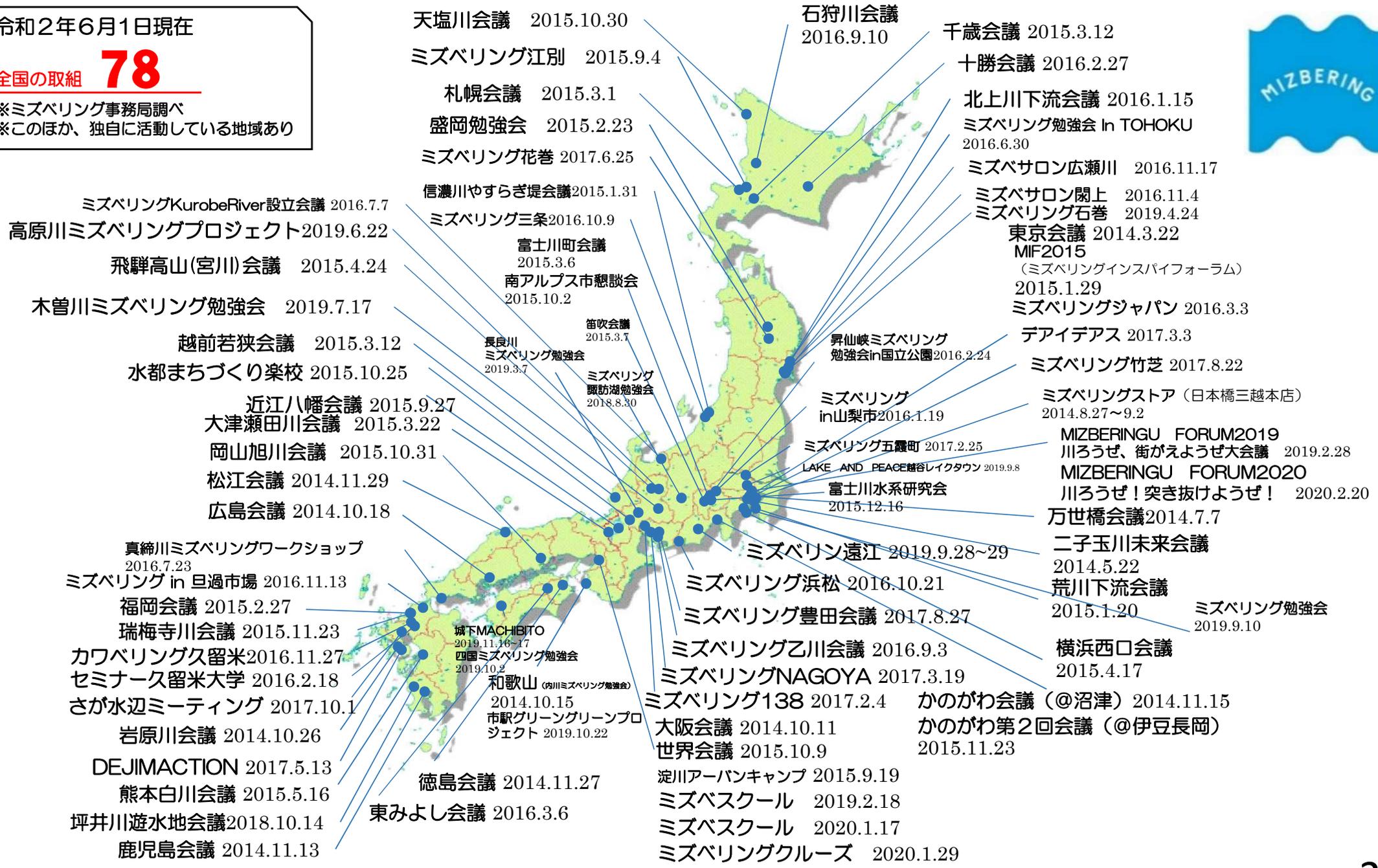
# ミズベリング “全国展開”



令和2年6月1日現在

全国の取組 **78**

※ミズベリング事務局調べ  
※このほか、独自に活動している地域あり



# ミズベリングの事例<the MIZBECK garden (福岡県:那珂川)>

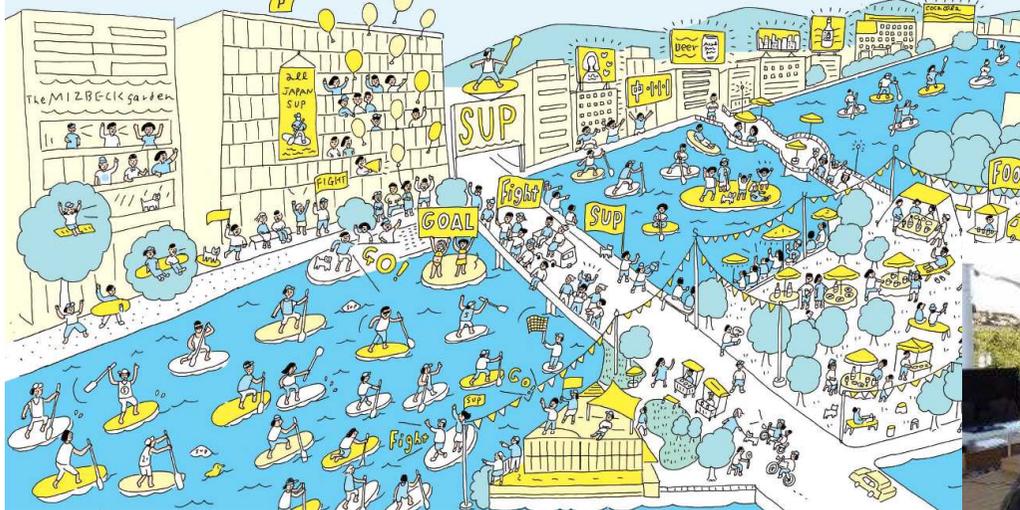


平成29年9月30、10月1日

## the MIZBECK garden 2017

～福岡の街なか“中洲”でミズベの魅力を感じる2日間～

福岡



- 名称: the MIZBECK garden 2017(ミズベック・ガーデン2017)
- 場所: 那珂川下流域(西中洲周辺)・天神中央公園貴賓館前広場・水上公園
- 主催: The MIZBECK garden 実行委員会
- 共催: MIZBERING FUN CLUB FUKUOKA、福岡シティサップクラブ
- 後援: 福岡県/福岡市/国土交通省九州地方整備局/福岡地域戦略推進協議会  
LOVE FM/RKB毎日放送/九州朝日放送/テレビ西日本/福岡放送/  
西日本新聞社/毎日新聞社/朝日新聞社/読売新聞社
- 内容: 第1部「福岡水辺プレゼンテーション」  
福岡県内各地のミズベプレイヤー4団体によるプレゼンテーション  
第2部「ミズベの妄想」  
ミズベリングトーク(全国・世界のミズベ、ミズベの妄想)



都市型河川を使った SUPレース大会!

総来場者数  
約2,500人/2日間

福岡市街部を流れる那珂川の水辺に多くの市民が集い大盛況!

ミズベプレイヤーによるプレゼン



テレビ取材



ミズベリングトーク



ミズベのパークヨガ



# ミズベリングプロジェクトのこれまでの取り組み

## ミズベリング東京会議 (2013/03/22)



日本の水辺の新しい活用の可能性を創造するため、約200名の参加者で、アイデアを出し合い、即座にスケッチし、「**水辺の未来図**」を共有した。

## ミズベリングインスパイア フォーラム (2015/01/29)



全米で最も住みたいまちにランクされるポートランドの秘訣に迫り、日本の水辺の可能性を浮かび上がらせた。

## ミズベリングジャパン (2016/03/03)



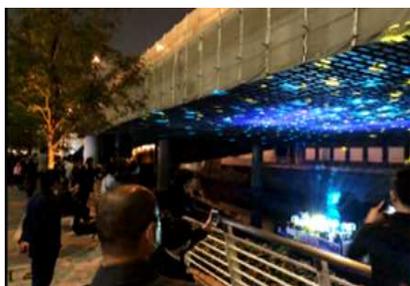
全国のミズベリングに関わる人々が集結して、公共空間利活用、地方創成、経済と水辺について、クロストークを展開

## ミズベリング デアイデアス (2017/03/03)



全国の水辺の最前線の現場をレポートするプレゼンテーションを展開。

## 東京の水辺周辺産業活性化 アクション (東京ワンダー・アンダー) (2018/03/14)



堤防や橋梁下部で光と音により「暗い」イメージを刷新する試みも実施

## ミズベリングフォーラム2019 『川ろうぜ、街がえようぜ大会議』 (2019/02/28)



都市局とも連携して実施し、工藤政務官に、サプライズゲストとしてご参加、水辺を活用した地域活性化に取り組む民間、行政など11組の様々な方々が登場。

## ミズベリングフォーラム2020 『川ろうぜ、突き抜けようぜ！』 (2020/02/20)



各地で先頭になって公共空間を活用した地域活性化等に取り組む民間、行政など7名の方々が、それぞれの思いや取組を紹介。

## 公共越境力養成塾 『KAWAREL MIZBERING CAMPAS』 (2020/10~2021/1)



新たな水辺のリノベーションが全国各地で進行することを目指し、ミズベリングのスペシャリストが、「公共越境力」のノウハウを伝授

# TBSラジオ × ミズベリング『アシタノミズベ会議』の開催

- コロナ禍において従来型のイベント開催が困難な中、今年度のミズベリングは、これまで毎年開催していたフォーラムを、ラジオとYouTubeライブに会場をうつして開催！
- TBSラジオで新しく始まった夜の学校「アシタノカレッジ」平日夜22時から2時間”モヤモヤをワクワクに変える”をモットーに、新時代を生きる私たちに必要な知識を学ぶ番組。
- 水辺の規制緩和から10年、ミズベリングの活動は日本を元気にできているのか、そのためにできることは何か、こんなことをテーマに令和4年2月に放送。

令和4年2月10日(木)14時～16時 YouTubeライブ配信  
<https://m.youtube.com/watch?v=522bUKBjJA&feature=youtu.be>

令和4年2月22日(火)22時～23時55分 ラジオ放送

テーマ1「ミズベがキテル！」

テーマ2「ミズベ激愛さん！」

テーマ3「ミズベの価値」

URL: TBSラジオ公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCtK2jtkcUh59o3RdfinlZ4Q>

番組公式サイト: <https://radio2022.mizbering.jp/>

【司会】 【ゲスト】



古賀涼子

【スペシャルゲスト】



都市建築家  
重松健さん



キニマンズ  
塚本ニキ



ULTRA A80実行委員会  
藤村育三



大橋マキ



埼玉県河川環境課  
石野剛史



岩本唯史  
(水辺総研)



『β本町橋』  
杉本容子



熊木雄一  
(国土交通省)



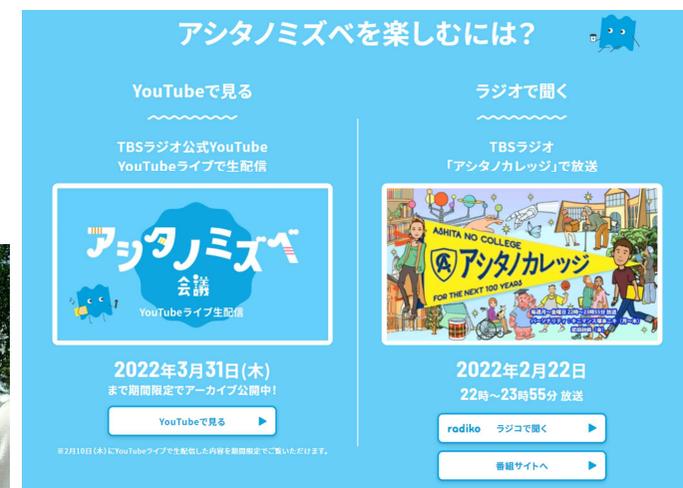
ミズベリング  
やすらぎ提研究会代表  
鈴木寿行



橋本淳司  
(水ジャーナリスト)



株式会社スノーピーク  
ミズベリング事業担当  
西條拓一



<https://radio2022.mizbering.jp/>

# ミズベリング 水辺で乾杯2021

- 「水辺で乾杯」は、7月7日(川の日)に、身近な水辺で同時に乾杯を行うことで、多様な主体と繋がる場をもち、新たな水辺の利活用をとらえる機会とする取り組み。
- 令和3年はコロナ禍の状況を踏まえ、皆が一斉に集うのではなく、ひとりで水辺に赴き、各々が撮影した乾杯写真をミズベリングHPに投稿し、全国乾杯マップを掲載。
- 「令和3年は、SOLOKAN！ひとりで乾杯！！」がキャッチフレーズ。

## 乾杯実施状況



## 水辺で乾杯2021成功させる SOLOKAN 5つの作法

- 1 オシャレな水辺の風景を日頃からロケハンしておく。
- 2 「映えるアングル」を探り、自撮りする練習をしておく。
- 3 衣装はサムシングブルー(青い何か)を身に付けておく。
- 4 ドリンクはお酒でなくてもいい。ノンアルもイケますよ。
- 5 マスクあり・なしの写真を撮って、良い方をリयरする。



ニューヨーク



高麗川



仁淀川

# ミズベリング・プロジェクト(ミズベリング活動の支援)

- 国土交通省では、全国各地で行われるミズベリングの活動を「ミズベリング・プロジェクト」として支援
- パンフレット、ホームページ、Facebook、フォーラムの開催等により河川空間活用の制度や全国の水辺活用先進事例、最近の公共空間活用の動向等を紹介
- さらに、全国で開催されるミズベリング会議への講師派遣やワークショップ運営支援などにより、各地域における主体的な取り組みを促す



水辺活用を促すワークショップやフォーラムの開催



SNSやwebを活用したタイムリーな情報発信



人々の関心を高めるパンフレット等の作成



地方会議への講師派遣

# かわまちづくり支援制度の概要

○河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す(令和3年度時点:244地区)

## ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

### 都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用  
(道頓堀川／大阪市)

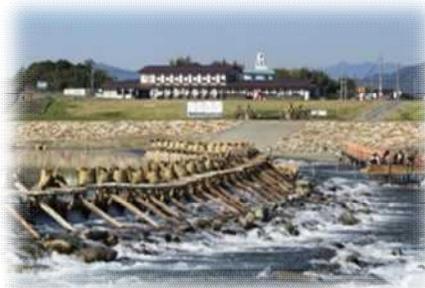


オープンカフェの設置  
(京橋川／広島市)

### 先進的な取組の情報提供



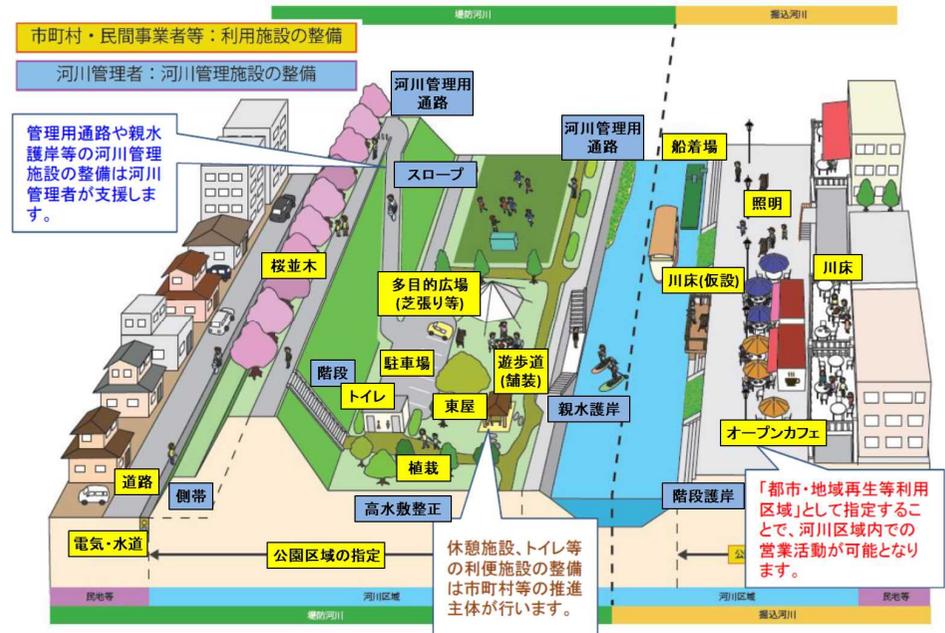
民間事業者との連携  
(北十間川／墨田区)



賑わい拠点の整備  
(五ヶ瀬川／延岡市)

## ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。  
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用  
(最上川／長井市)



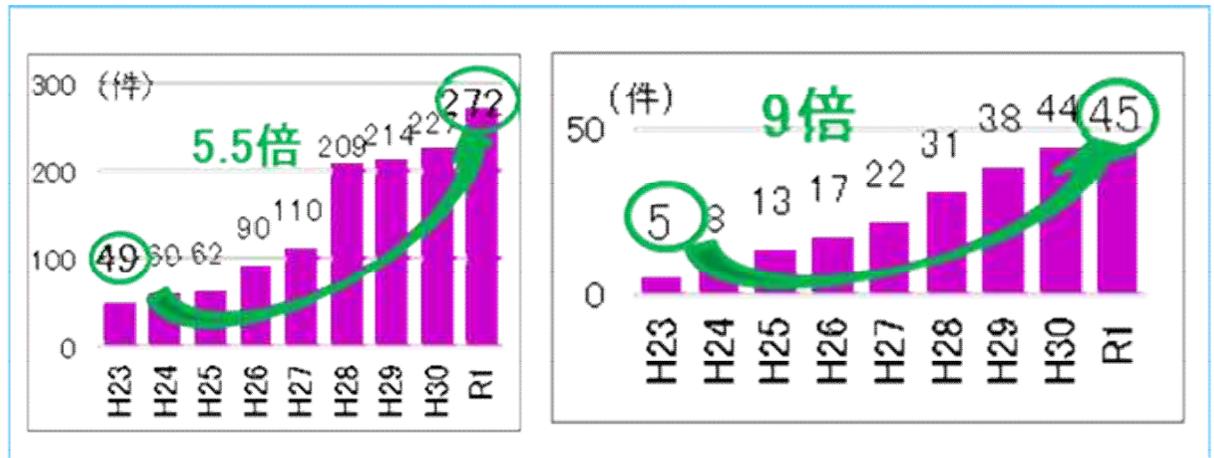
親水護岸の利用  
(新町川／徳島市)

# 事例：大阪市かわまちづくり（道頓堀川：大阪府大阪市）

- 行政間の連携だけでなく、民間等による沿川地域の開発と連携した一体的な水辺遊歩道や橋梁、船着場等を整備することで個性的な水辺空間を創造。
- 公募で選定した民間事業者が周辺一帯を包括的に占有し、イベントの実施やオープンカフェの誘致、舟運の活性化等により、水辺空間の賑わいを創出。



河川沿いのオープンカフェ



イベント実施件数

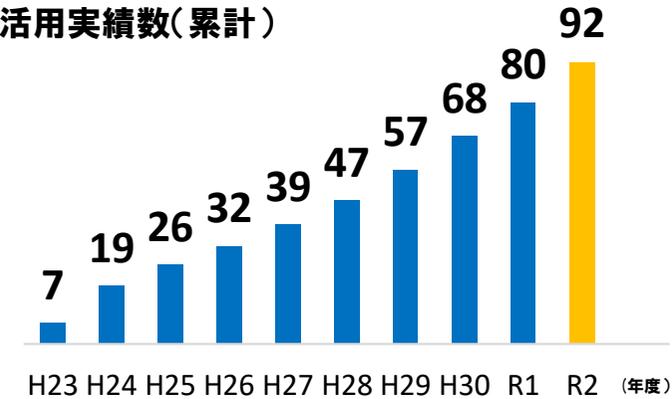
オープンカフェ設置件数

# 河川空間のオープン化について

## 概要

- 河川敷地の占有主体は原則として公共性・公益性を有する者であるが、河川敷地をにぎわいのある水辺空間として積極的に活用したいというニーズの高まりを受け、平成23年に河川敷地占有許可準則を改正し、一定の要件を満たす場合、「都市・地域再生等利用区域」を指定して、営業活動を行う事業者等も河川敷地の利用を可能としたもの。（河川空間のオープン化）

河川空間のオープン化 (R3.3.31現在)  
活用実績数(累計)



## オープン化が適用される要件

- 河川敷地を利用する区域、施設、主体について地域の合意が図られていること。
- 通常の占有許可でも満たすべき各種基準に該当すること。  
(治水上及び利水上の支障がないこと等)
- 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。

## 都市・地域再生等利用区域において占有許可が可能な施設

- 広場、イベント施設、遊歩道、船着場
- 前述の施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場、切符売場、案内所、船舶修理場 等

## オープン化の主な流れ

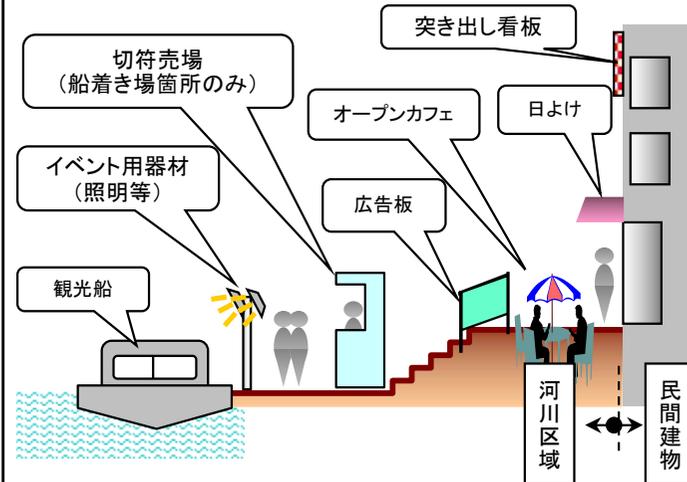
協議会等による地域の合意形成

都市・地域再生等利用区域の指定

河川敷地の占有申請・許可

事業者等による営業活動の開始

## 河川空間利用のイメージ



## 河川空間のオープン化の事例

オープンカフェ(広島市・京橋川)



バーベキュー広場(埼玉県・都幾川)



民間事業者等が河川敷地にオープンカフェやバーベキュー場等を設置することが可能に。